

宮崎大学生協 おさがり市



[環境]

取り組み概要

日時：(お預かり)2025, 1/23,24・2/10,14
(お渡し) 4/13 新歓祭と同日開催
場所：宮崎大学生協食堂内多目的ホール
参加者数や組合員の反応：新入生260人が参加

背景や概要：卒業生・在校生・職員さんから「使わなくなったけど、まだ使えるもの」をお預かりし、新入生へつなぐ取り組み。モノを譲る人・受け取る人の双方が、小さな行動から環境配慮につながることを実感できる取り組みとなりました。

みんなでつなぐ新生活とモノの循環

POINT.1

【お預かり】3Rをもっと身近に。



今回のお預かり期間は1・2月の4日間で実施し、引越時期よりやや早めの設定だったものの、多くの方が柔軟に参加してくれました。情宣では**ポスターの掲示や研究室への投函が効果的**で、別のキャンパスにある医学部まで情報を届けたことで、認知の拡大に繋がりました。当日は受付や情報宣伝などの**役割分担がうまく機能し、飛び込み参加にも対応**できたほか、新入生へのメッセージカード記入など温かいつながりも生まれました。「部屋の掃除中で助かった。」「新入生・卒業生双方にメリットのある取り組み」という声も多く、3Rを身近に感じられる取り組みになりました。

POINT.2

【お渡し】新生活のサポート×モノの循環

お渡し企画では机や本棚などの家具からお皿やコップなどの食器類およそ150点を無料で新入生にお渡ししました。また、消費活動に関するピラの配布を行うことで、モノを受け取るだけではなく、「**これからの暮らし方を考えるきっかけ**になった」という声にもつながり、参加者アンケートでは約7割が資源の大切さや3Rについて考えるきっかけになったという回答がありました。



POINT.3

【モノのつながりをみえる化する工夫】



今年は特にモノを渡すだけではなく、**気持ちまで受け継ぐ仕掛けづくり**を大切にしました。出品者全員に記入してもらったメッセージカードは会場に掲示することで、新生活の応援や想いが共有でき、新入生からも好評でした。また、新入生には新生活への意気込みをカードに記入してもらい、**想いの循環を可視化**することができました。また、参加後にもSNSを活用し、新生活へ向けた注意点をまとめた情報の発信を行いました。